

登録コード	E5014900	開講年度	2026	市民開放授業			
授業科目	日本語教育学概論					担当教員	徳井 厚子
英文授業名	Teaching Japanese as a second language					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	2-4年生
講義室	教育E 201		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				日本語指導の専門家に求められる教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				日本語教育の教室活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	日本語教育に必要な文法知識、日本語教育の教授法、教科書に関する知識、児童生徒に対する日本語教育の方法論について理論、実践をもとに学ぶ。						
(5)授業計画	第1回 日本語の特徴 日本語の音声 第2回 日本語教育の現状 第3回 日本語教育と国文法 第4回 コミュニカティブとオーディオリンガルアプローチ 第5回 日本語教育と文法(自動詞と他動詞) 第6回 日本語教育と文法(受身・漢字) 第7回 日本語の教え方 第8回 外国籍児童生徒と学習言語 第9回 子どもの日本語の教え方 第10回 DLA 第11回 外国籍児童生徒の教材 第12回：リライト教材の基礎 第13回：リライト教材の作成 第14回 中上級の日本語教育 第15回 まとめ アンケート実施						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業のねらい の到達度を測る課題 30% ・授業のねらい の到達度を測る課題 30% ・授業のねらい と の到達度を測る最終レポート40% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	レポート、ふりかえりシートにおいて1)授業内容を理解しているか 2)問題点や課題を見いだし ているか 3)考察を深めているか 4)オリジナリティがあるか。上記のうち1項目を満たしてい れば「その水準にある」2項目を満たしていれば「やや上にある」3項目を満たしていれば「かなり上 にある」4項目を満たしていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	毎回、授業後に「感想」をeAlpsにアップしてもらいます。以下の観点に留意してまとめること。1)授 業の内容をふまえること 2)授業から自身がどのように考えたか明確にかくこと						
(9)履修上の注意	教育実習期間中はオンライン課題などの対応をします。 レポートは期限を守らない場合は減点となります。引用した文献がある場合は(HPも含めて)必ずその 引用元を明記すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	相談・連絡は以下のアドレスにメールで連絡すること メールアドレス tokuias@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	適宜指示する						